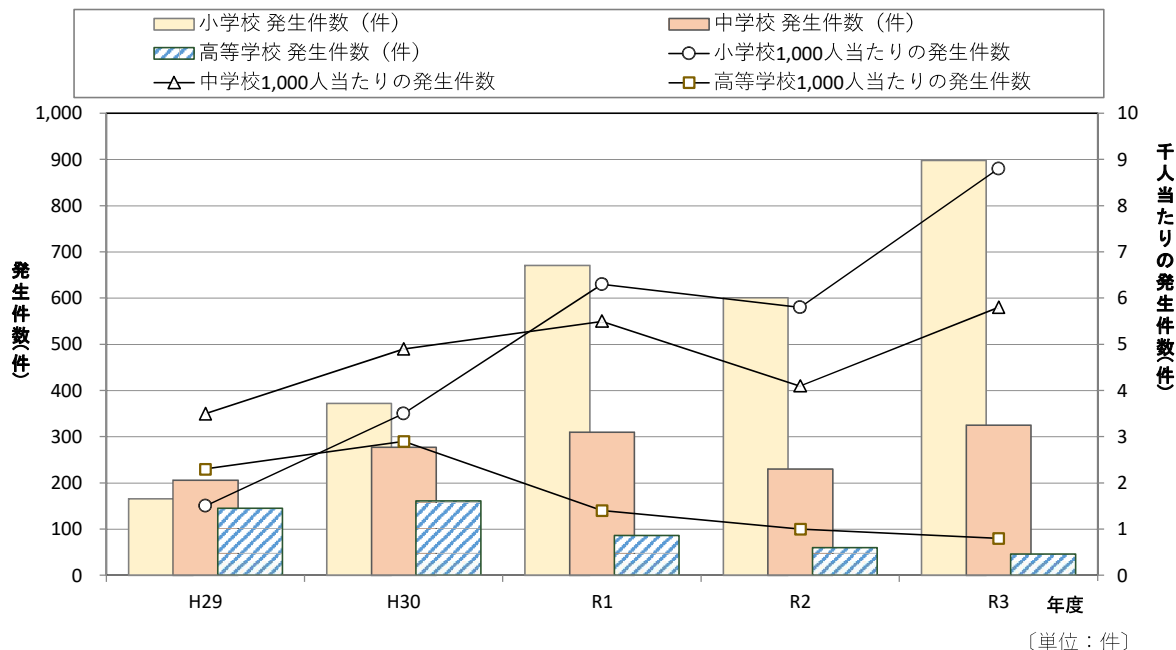


# 令和3年度 暴力行為の状況について

心の支援課

- 小・中・高等学校における暴力行為の発生件数は1,269件（前年度891件）であり、前年度から378件（42.4%）増加。児童生徒1,000人当たりの発生件数は5.8件（前年度4.1件）である。
- 小・中学校において暴力行為が増加。内容別では生徒間暴力が最も多く、いずれも全国と同様の傾向となっている。一方、高等学校では暴力行為が減少傾向にある。
- 暴力行為の増加の背景として、いじめの積極的な認知による暴力行為の把握や、新型コロナウイルス感染症の影響から、ストレスを抱える児童生徒が増えたこと等が考えられる。

## 1 校種別発生件数及び1,000人当たりの発生件数の推移



年 度		H29	H30	R1	R2	R3	
小学校	発生件数	166	372	671	601	898	
	前年度増減	97	206	299	▲ 70	297	
	1,000人当たりの発生件数	県	1.5	3.4	6.3	5.8	8.8
		全国	4.4	5.7	6.8	6.5	7.7
中学校	発生件数	206	277	310	230	325	
	前年度増減	41	71	33	▲ 80	95	
	1,000人当たりの発生件数	県	3.5	4.8	5.5	4.1	5.8
		全国	8.5	8.9	8.8	6.6	7.5
高等学校	発生件数	145	161	86	60	46	
	前年度増減	▲ 10	16	▲ 75	▲ 26	▲ 14	
	1,000人当たりの発生件数	県	2.3	2.6	1.4	1.0	0.8
		全国	1.8	2.1	2.0	1.2	1.2
合計	発生件数	517	810	1,067	891	1,269	
	前年度増減	128	293	257	▲ 176	378	
	1,000人当たりの発生件数	県	2.2	3.6	4.8	4.1	5.8
		全国	4.8	5.5	6.1	5.1	6.0

(注) 調査対象校：県内国公私立・小中高等学校(通信制含む) 672校

## 2 校種別・内容別発生件数

[単位：件]

校種	対教師暴力			生徒間暴力			対人暴力			器物損壊			合計		
	R1	R2	R3	R1	R2	R3	R1	R2	R3	R1	R2	R3	R1	R2	R3
小学校	134	82	144	379	389	554	1	28	3	157	102	197	671	601	898
中学校	27	19	20	192	142	208	15	7	5	76	62	92	310	230	325
高等学校	5	3	3	55	37	29	4	2	2	22	18	12	86	60	46
計	166	104	167	626	568	791	20	37	10	255	182	301	1,067	891	1,269

(注1) 調査対象校：県内国公私立・小中高等学校(通信制含む) 672校

(注2) 「器物損壊」は、学校の管理下で起きた場合のみを集計

